



ゲストティーチャー 学校を支援

百年塾はまちづくりを理念に掲げて進めてきました。年度当初に「ゲストティーチャー」制度をスタートさせ、市民教授や地域の方が学校の授業や幼稚園を支援してきました。今年度は市内の小・中学校や高等学校で147名が活躍しました。学校では2002年から始まる児童が主体的に取り組む「総合的な学習」の在り方などを研究する移行期間として地域やPTA、各種グループなどと連携しながらさまざまな取り組みがされています。

どんどん広がる輪 大久保小学校

2月19日(土)シビックセンターマープルホールで開催された「ごみ減量推進のつどい」では、大久保小学校の4年生全員が「ごみ減らし大作戦」の研究発表を行いました。

5月から半年間かけて取り組んだ環境問題、生ゴミ、缶、瓶、ペットボトル、紙、ダイオキシンの最終処分場(埋立地)にいたるまで、5~6人程度のグループに分かれて研究しました。

バスを使い、神峰公園口から歩いて清掃センターに行ったり、学区内を回ってごみ減量のために廃品回収を行ったり、また、ごみ減量に取り組んでいる人を学校に招いたり、様々な方法で調査、実践しました。

11月にはまとめとして学校で行った発表会に、地域の人や市役所のゴミを減らす課、業者、ごみ減量に取り組むグループなど、お世話になった人々を招待したことから、今回のつどい出演となりました。

また、廃品回収などでお年寄りに

接した折、資源ごみを出す大変さを知り、6年生に話したところ、毎月



自分たちの研究成果を発表中

の回収日には6年生が普段より早く登校し、学校からリヤカーをひいてお年寄りの家をまわってゴミ出しの手伝いをするという輪も広がり、交流が深まっています。

地域の人を先生に 水木小学校

水木小学校では、6年生が社会科の授業で、自分たちが住む地域の歴史を勉強しました。

どんなことが知りたいかを洗い出し、ハマギク、大祭礼、イトヨなど、テーマごとに大きく5つのグループを作りました。自分たちで調査をし、それでもわからないこと、疑問に思うことを、水木の歴史に詳しい人に聞くことにしました。

百年塾の市民教授の中に適任者が見つからず、PTAや知人を通して、テーマごとにひとりずつ、5人の地域の方々をゲストティーチャーにお願いしました。

インタビュー会としてテーマごとにゲストティーチャーを囲み、1問1答形式で疑問質問に答えてもらいました。



5人の先生と一問一答

はじめて見る軍服 宮田小学校

11年度の百年塾推進校に指定された宮田小学校では、リズム遊びや、たこづくりなどの市民教授や、戦争体験の授業には地域のお年寄りをゲストティーチャーとして迎えて、積極的に事業が進められました。

この戦争体験の話を読まれた佐々木祐治さんは、大切にしていた軍服や勲章を持ってきて見せてくれるなど、熱心に講義、身を乗りだして聞き入る子どもたちの姿がありました。

地域の人材を迎えることよきは、子どもたちが聞きたいこと調べたいことが

できたときに、気軽に訪ねたり交流できることであり、もっと学校向けの市民教授や異文化体験などの分野には外国人などの登録を進め、学校への情報提供をしてほしいと要望されています。



参考になる写真や資料の展示もされて

未来への展望 本部長に提言 実践は13年度から

平成10年6月発足した「百年塾みらい委員会」が、2年かけて、これから百年塾がめざす「未来への展望」をまとめ、今年度中に本部長に提言します。

この提言書は6章からなっており、百年塾の誕生と10年間の経緯、新しい時代を展望、10年間に何ができたか、現在の課題と改善すべき点を考える、どうしたらよいか具体的な方策、この「みらい委員会」で何を考えたか、などがまとめられています。

この提言は13年度から具現化されることになり、スムーズに実践に移せるよう12年度は移行期間として推進委員の増員を図りながら、現在の推進体制で進められ、多くの市民とともに百年塾推進本部で、議論を重ねていくことが確認されました。

調べ学習の疑問に即答してもらえたり、授業とは違った環境で新鮮味があり、楽しい授業となりました。

研究の成果をまとめたものは、保護者会で発表した後、地域の人にも見てもらおうと、泉が森公民館に展示されました。

ポップ・ステップ 振興大会で配布

「ひたち生き生き百年塾」の事業推進部・校は、まもなく一巡します。各校が導入した「ゲストティーチャー」制度は、地域の人材や高齢者の方々から、生活の知恵や地域の歴史を学び、交流を深めました。

学校教育部会ニュース「ポップ・ステップ」では、その様子が掲載され、1月28日の日立市教育振興大会で配布されました。

NONジャンルコンテスト フリーステージ2000

3月19日(日)13:00~
日立市民会館ホール

市民教授

まちの活性化に一役

「小さな美術館」が日立銀座商店街の一角にオープンし、2月12日から16日間、5名の市民教授の七宝工芸、木工ろくろ細工、カリブの民族手芸モラ、パンフラーなどの手づくりアート作品が展示されました。

この事業は商工会議所と百年塾の連携で実現したもので、商店街の空き店舗を利用してのにぎわい創出の一環として行われた活性化事業に、市民教授が一役を担ったものです。

初の試みとなったこの「小さな美術館」事業を、続けてほしいとの声も届いています。



相談日をたよりに

百年塾広報セミナー コンクール表彰&フォーラム

1月22日(土)日立公民館で百年塾主催の広報セミナー「広報紙コンクールとフォーラム」を行いました。

表彰式後のフォーラムでは苦労したこと、悩んだこと、広報委員として成長したことなどが話されました。

PTA広報紙は全体的に行事や運動会に重きがおかれ、写真に頼る傾向が見られましたが、じっくり読みたくなる内容の特集したものもありました。

助言者の古川稔さんからは、広報の役割をもう一度考え、PTAの活動の様子を中心にとのアドバイスがありました。

今年度は広報相談日を設定して、PTAの広報紙づくりの支援に力を入れてきました。この相談日いくつかの学校が数回ずつ訪れ、レベルアップにつながっているようです。

分からないことは

分かる人に聞けばいい

フォーラムで多くの前向きな意見がたくさん出されました。

- ・住民に役立つ情報を自然体で
- ・新しい観点で記事を書いた
- ・編集が楽しいと思えるようになりたい
- ・周りを気にし過ぎると良い記事が書けないかも
- ・地域のいろいろな活動に気を配るようになった
- ・写真は先生から借りていたが、全

- 員で撮るようにした
- ・親に伝えたい情報をどう伝えるかが難しい、伝えるという大変さを実感している
- ・広報委員はいやいや引き受ける人が多いのでまとまりにくい
- ・委員が全員変わるので大変
- ・わからないところはわかる人にとんどん聞くようにした
- ・記事は自分たちで書けるようにしたい
- ・学校に行く機会が増え学校や子どもの様子がよくわかる
- ・活動でネットワークが広がった
- ・多くの人と知り合いプラス思考の人に多く会えて元気をもらった
- ・いろんな考え方の人を知り、見る目が出てきた
- ・先生とのコミュニケーションが図れた
- ・みんなが助け合い楽しかった



左から 黒沢秀子(広報副部長) 青木昱秀(大みかコミュニティ推進会) 助川とみ江(田尻小学校) 山田京子(泉丘中学校) 渡辺正昌(日立市P連副会長・広報担当) 敬称略

百年塾広報紙コンクール入賞団体

賞	小学校	中学校	一般
本部長賞	水木(みずぎ)	泉丘(泉丘)	田尻学区市民運動をすすめる会(田尻ネットワーク)
審査委員長	田尻(たじり)	駒王(駒王)	大みかコミュニティ推進会(大みか市民報)
広報部会長	日高(ひたか)	大久保(暇修)	日高学区市民自治会(日高)
フォト賞	大久保(会報おおくぼ)		
期待賞	塙山(ほとにゆーすはなやま)	久慈(しらすな)	宮田学区市民運動をすすめる会(宮田まなざし)
	滑川(滑川)		
	油繩子(ゆなご)		

・仲良くなるに従いよりいいものを作ろうと大いに議論した



熱心に審査講評を聞く

PR活動に17社訪問

百年塾企業部会が担当している企業訪問は、日立市民の生涯学習「生き生き百年塾」を、企業の人たちにもっと知ってもらい、より多くの人たちに生涯学習を楽しんでもらいたいとはじめたもの。昨年8月からはじめて、現在まで17社を訪問しました。

各企業の担当者に、リーフレット、ガイドブックなどで、百年塾を紹介しています。企業では担当者だけでなく、従業員にも理解させたいと、改めて従業員を集めての説明会になる企業も出てきています。

また、企業で発行している社内報に、百年塾の紹介コーナーを設けてくれるところもあり、この活動で百年塾がより企業と近くなったと実感できます。



説明中の企業部会推進員

豊かに生きよう J-net

定年前後の仕事人間が、手さぐりでつくったJ-net(熟年研究会)が、生き生きと活動しています。

このJ-netが、シオン短大における県の生涯学習「ゆうゆうカレッジ」などの運営法を参考に、活動の方法を見直すことになりました。1年間を通じて郷土の歴史、福祉、趣味、教養など、月1回の学習を通して、生きがいや仲間づくり、社会活動などで、豊かなシニアライフへの足掛かりにします。

この活動は新年度から予定しており、

近日中に会員を募集します。希望者はJ-net会員、または百年塾サロンへ。

市民教授展示コーナー

場所：教育プラザ入口正面

期間	市民教授	展示分野
2/28~3/13	萩野谷泰子	パッチワーク
3/13~3/27	舟生よし子	和紙ざり絵
3/27~4/10	板橋美千代	ドライフラワー
4/10~4/24	桑原洋子	手織物
4/24~5/8	大高てる子	折り紙
5/8~5/22	園原愛子	パンフラワー
5/22~6/5	山崎良子	書道
6/5~6/19	小野節子	ハーブ

ありがとうございました

ネパール学校建設募金

ネパールの子どもたちに教育を受ける機会を広げるため学校を贈ろうと、百年塾フェスタなどで募金を続けてきました。市内外の多くの団体からも善意が寄せられました。

- ・百年塾フェスタ「ビックハート」
- ・公文教育研究会(水戸・船橋)
- ・日立シビックセンター科学館
- ・小学校児童会(滑川、大沼、油繩子、中小路、助川、諏訪、金沢)
- ・中学校生徒会(中里、久慈、泉丘、大久保)

役立ててください

「自主グループガイド」

1994年に市内の公民館、コミュニティセンターなどの公共施設において、さまざまな分野で活動している自主グループの初版のガイドブックを発行しました。

6年たち自主グループ数も大きく増え、より多くの人に利用していただくため、新たに発行する運びとなりました。「見る、聞く、さがす、夢がある」もっと何かを学びたい、挑戦してみたい、心の豊かさを求めたい、そんな自分さがしのお役に立てれば幸いです。3月中に発行予定(有料)

行って見てマイタウン

かみね動物園

かみね公園の中にある県内唯一のかみね動物園には、100種、570点の世界中の動物が飼育されており、海の見える動物園として市民に親しまれています。年間入場者は約29万4千人。

毎日の餌 650kg80万円と聞いてびっくり。動物資料館には、「ゾウのみね子」の標本もあります。

65以上の方は入場無料。桜の季節にかわいい動物を見ながら、のんびりと歩くのにはぴったりのウォーキングコース。かみね動物

園へ出かけてみませんか。

入園料 大人(15才以上) 500円

子人(4才~15才未満) 100円

休園日 毎週月曜日 祝日のときは翌日

ただし春休み、4月、夏休みは無休

問合せ 日立市かみね動物園

☎22-5586

